

球磨川水系流域治水プロジェクト及び令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン推進に向けた 流域住民の皆様を対象とした説明会（御質問への回答）

日時：令和3年9月8日（水）午後7時～

会場：山江村農村環境改善センター

参加者：23名

※上記説明会で頂いた御質問等に対する回答を種別ごとに掲載しています。

※御質問の内容については簡潔に概要としてまとめています。

※回答内容については、当日の回答内容を基本として簡潔に整理したのですが、必要に応じて一部、補足説明を追記しています。

【球磨川流域の治水対策について】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
山田川の上流の方にはかなり土砂が堆積している状況。昨年1度掘削をしていただいているが、今年の雨で昨年以上に堆積しているような状況になっている。もっと深く掘削できないのか。	堆積土砂の掘削については、深く掘削しすぎると、河川護岸の基礎が露出し、出水時に護岸が被災する恐れがあるため、護岸状況を見ながら、掘削の深さを検討しています。	熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局
河川の堆積土砂の撤去は完了しているようだが、今の状況で安全は保たれているのか。どこまでの堤防のかさ上げになっていくのかなどを教えてください。	河川の堆積土砂の撤去について、今年5月末で、今年の豪雨による堆積土砂を撤去しましたが、8月にまた出水があり、土砂も溜まっている状況もありますので、今後も継続的に堆積土砂の撤去を実施していきます。 【補足説明】 今後の支川の対策につきましては、現在、県で河川整備計画の検討を進めています。今後、住民の皆様にご案内させていただきます。	熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
今回の災害で、下の段地区、井手の口地区の堤防が越水した。これらの地区の堤防のかさ上げ等は検討しているのか。	当該地区については、浸水被害があったことを県でも確認しています。今後の支川の対策につきましては、現在、県で河川整備計画の検討を進めています。今後、住民の皆様にご案内させていただきます。	熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
下の段地区付近の堤防が低い。実際に越水した場所なので、是非検討いただきたい。	浸水被害は確認しており、堤防がない部分があることも把握しています。昨年の7月豪雨の際は、その地区の堰の下に多くの土砂の堆積があったことも確認しており、今年5月までに全て撤去しています。今後の支川の対策につきましては、現在、県で河川整備計画の検討を進めています。今後、住民の皆様にご案内させていただきます。	熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
屋形地区は堤防を越水して被害にあった。同じ場所に自宅を再建したいが、堤防の高さがどれくらいになるのか教えてください。	屋形地区につきましては、大きな岩などが原因で、流れが阻害された地区であると把握しています。今後の支川の対策につきましては、現在、県で河川整備計画の検討を進めています。今後、住民の皆様にご案内させていただきます。	熊本県 土木部 河川港湾局 河川課
万江川と宇那川の上流部に砂防ダムの建設をお願いしたい。	流域内で土砂の流出が確認されていますので、現在、砂防施設の必要性について検討しているところです。その中で、建設する場所等についても検討していくことになっておと思いますが、まずはその必要性について検討することになります。	熊本県 土木部 河川港湾局 砂防課
城内団地の近くの堤防が決壊し、現在、災害復旧が進められているが、現状復旧だと思う。山からの水の排水という部分は考慮されているのか。	河川護岸が崩れた箇所は、災害復旧として原形に戻すという形になりますので、河川護岸の復旧を行っていくことになります。 山からの水というのは、県でもはっきりとは確認できていない状況ですので、説明会後に詳しく教えていただければと思います。 【補足説明】 山からの水は、瀬谷川から県道坂本人吉線にある暗渠を通して万江川に排水されています。排水施設の能力を超える水については、施設の各管理者と連携して対策を検討していきます。	熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局 熊本県 土木部 河川港湾局 河川課

【復旧・復興の取組みについて（治水対策を除く）】

御質問（概要）	御質問への回答	回答者
<p>淡島の参道橋が2本あるが、下の橋は壊れて通れず、上の橋を通行している。参拝者が安心して通れるようにしていただきたい。</p>	<p>現在、下の橋（淡島裏参道橋）は被災して通れないため、上の橋（淡島表参道橋）を通っていただいています。淡島地区については、近接する県道坂本人吉線も被災しているため、県道坂本人吉線の復旧・かさ上げ工事と淡島裏参道橋の復旧工事を連携して行っていく予定です。</p>	<p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p>
<p>万江川の上流部（第16区）の工事はいつ頃取り掛かるのか。すまいの再建を検討したいが、工事があるため、計画を教えてください。</p>	<p>当箇所の災害復旧工事については、用地買収が必要であり、現在、用地交渉を進めているところです。用地の取得が終われば、工事に着手したいと考えています。当箇所は、道幅が狭く、施工箇所を掘削すると通れなくなるため、河川側に工事用道路と兼ねて、緊急車両等も通れる道路を整備しながら、工事を進めていきたいと考えています。なお、用地取得に時間を要しており、全ての工事が完了するのは令和5年度か、それよりかかるという見通しです。</p>	<p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p>
<p>東下払地区の治山工事が終わらないと、村道の復旧ができない。早急に工事を進めて、村道が通れるようにしてほしい。</p>	<p>この件については、村からも強く要望されており、県としても、まずは、現在発注している山腹工事の箇所を、なるべく早く完了（R4.2月末完成予定）させ、そちら側をまずは通行できるようにしたいと考えています。東下払については、村道の復旧と合わせて治山工事を実施（R4.3工事契約予定）する予定です。できる限り早く着手して皆様の生活が早く便利になるように努めて参ります。</p>	<p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p>
<p>仮設住宅にお住まいの方々は供与期間の延長を望んでいる。今後、国と協議されることになると思うが、是非よろしく願いしたい。</p>	<p>知事が、各地区の仮設団地を回り、仮設団地に入居されている方々から御意見を聞いています。その中で、知事が申しているのは、最後のお1人まで決して取り残さないということをお願いしています。工事等が終わらず、仮設から出たくても出られない、自宅の再建ができない等、様々な事情があると思いますが、最後の1人まできちんとすると知事も話しています。県としては、知事の考えを踏まえ、地元の声をきちんと国へ伝えていきます。国の方も、そのような状況をご理解いただければと思いますので、一生懸命頑張っていきたいと思っております。</p>	<p>熊本県 企画振興部 球磨川流域復興局</p>